

自校給食を計画的に 全市へひろげよう！



杉野おさむ

思いから。自校給食に優るものは
ありません。（切り替えた市の
教育委員会のことば）

市民合意後回し！

理科大の跡地利用が市民の
合意なしで、強引に進められ
ようとしています。それは、
1万2千食分を作る給食セン
ターから、久喜市の全小中学
校すべてに配送するという計
画です。このままでは、栗橋

子どもたちにどんな給食を届
けたいのか、このことこそ最優
先で考えるべきことです。市は
給食審議会にもはからずに計画
を出してきました。これでは市
民合意後回し、と言われても仕
方がありません。自校給食かセ
ンター方式かの是非を市民に聞
くべきです。



手作り給食の説明も楽しい時間

自校給食メリット

- ・温かい給食をおとどけ
- ・手作りメニューが可能
- ・配送費用は基本不要に
- ・栄養教諭を各学校に配置
- ・食中毒被害は最小に
- ・地元の食材を採用し易い
- ・災害時食事提供避難所になど自校給食にはメリットがいっぱいあります。



「きょうは、さやエ
ンドウの栄養士さん
と楽しい食育の時
間です」

鷺宮運動広場 にトイレを！

鷺宮の運動広場では、地域全
体の体育祭や防災訓練などの
地域全体の事業が行なわれる
場所です。また、ソフトボール
大会、ゲートボール大会など
も市外から多数の方が利用す
る鷺宮地域のメイン会場です。
ここにあるのは、工事現場で使
う簡易の古いトイレだけ。
「ふつうのトイレが欲しいね」
はみんなの願いです。



石田としはる

液状化対策事業は市民に寄り添い実施を



地下水低下工法の現場に立つ石田

000円となっています。

寄附をされた方に対して、
寄附を受けた被災者のみな
さんの感謝の気持ちなども
知らせていくことが重要で
はないかと提起しました。

市は、「被災者住宅再建支
援事業につきましては12
5世帯が対象で、10月末現在
で66世帯の方が利用されて
います。そういった方の声等
も集約しながら、寄附をいた
だいた方や市民の皆さんに
紹介、案内をしていただくと
考えている」と答弁しまし
た。

寄附金の活用はどのように

久喜市民のみなさんから、久
喜市東日本大震災被災者支援へ
の寄附金が寄せられ、平成28年

地域猫、野良猫を 増やさないために



「わたしたち野良猫
の生存率は1割で
す。てをさしのべて」

ボランティアで不妊手術、去勢を
している方がいます。動物愛護の
立場から殺処分を減らし、快適な
地域環境を守るためにも久喜市と
して助成を実施すべきと質問。
市は、「今後地域猫活動などについ
て、相談があれば対応していきた
い」と答弁しました。

現在、埼玉県では不妊費用と交
通費の助成事業を実施していま
す。また、公益財団法人日本動物
愛護協会でも去勢手術助成事業を
実施しています。「久喜の広報でも
周知を」との提起に、市は「ホー
ムページとか、窓口で丁寧に説明
をさせていただく」とのことです。
ご相談ください。



渡辺まさよ

理科大跡地に巨大物流倉庫、環境悪化が心配です

開発される6割部分の地区計画がようやく作成されました。「清久工業団地周辺地域開発で出された地区計画を参考に作り、住民の生活環境、交通公害に配慮した」としています。

壁面の位置は20m・建物の高さは31mとし、細分化を防ぎ一つの建物のみを許可としています。

左の図のようにRW久喜特定目的会社（レッドウッド株式会社）によるマルチテナント型物流倉庫開発予定・規模となります。高さ31m（4

階建て）延床面積15万5600㎡、建築面積3万9900㎡、一日の交通量はテナントによってずれはあるが、150台〜230台の目安とされました。

通学路の安全対策を先に

2017年3月開発申請許可のあと、2017年夏から約16ヶ月の工事期間を持ち、2018年12月には完成予定です。今年12月からは今ある体育館などの解体工事、来年すぐに農業用水の確保工事に入る予定と答弁。工事運搬車両も含め、テナント物流への搬入は図の通り県道12号線（川越・栗橋線）からとなります。交通量の増大、渋滞は余儀なくされます。さらに、12号線の片側は、歩道もなく、側溝にふたもかかっていません。子ども達の通学路の12号線を渡る位置には信号もありません。これらの対応が先ではないかと要求しました。

冠水対策は大丈夫か

冠水対策として、これまでの調整池を掘り下げて1.6倍の機能を持たせると言う説明でしたが、理科大周辺はいつも水が出て、特別支援学校の西側の道は通行出来なくなるところです。約4万平米の土地に建物が建設され、浸透機能が低下することになります。はたして大丈夫なのか疑問です。

学校給食センター建設

強引なやり方には反対です

理科大跡地の活用案として計画された1万2000食を作る給食センターは、すでに設計・工事等が予定されました。学校給食審議会への諮問は「これらの確認」としています。このようなやり方は考えられません。トップダウンの強引な進め方で反対です。

まずは、給食のあり方の市民合意が必要です。審議会でもいままでの議論を元に審議していくべきであり、「確認」作業ではないはず。保護者へのアンケートなどを行い市民の意見をきちんと聞くべきです。市の拙速なやり方には賛成できません。



平間益美

久喜地区にもデマンドバスを！

市道鷲宮414号線 ロジャースからアリオ鷲宮への 道路拡張工事は

この場所は地元の皆さんと話し合いを続けているが、意見が様々であるため、早急に拡張整備をするのは難しいという答えでした。

「退避所を追加する、歩行者用スペースを設ける等、安全性を重視した形での取り組みを今後も続けてほしい」と要望しました。

デマンド交通の改善、拡充を

久喜地区への運行延長、久喜地区での運行は、多くの市民の要望です。「市役所本庁舎、新久喜総

合病院、文化会館などへの乗り入れは至急検討すべきではないか」との質問に「民間業者の経営を圧迫するからできない」との答弁です。

「では民間バスの利用者数が、デマンド交通の開始によって減少しているという数字は調査しているのか」との質問には「やっていない、今後もやる予定はない」との答弁でした。

久喜地区での運行を

新生久喜・公明党の議員も要望

久喜地区でのデマンド交通開始実現に向けての質問は、新生久喜や公明党の議員からも行わ

れました。しかし、久喜地区は市内循環バスを基本とすること、市内循環バスの一部を菖蒲東部地区、鷲宮南部地区へ延伸しているので、考えていないとの答弁です。

高齢者・要介護者などの交通弱者

交通事故対策の上でも必要

65歳以上の方は、久喜地区1万9146人、菖蒲地区6303人、栗橋地区7317人、鷲宮地区9812人（介護福祉課調べ）います。

また、65歳以上で免許を取得されている方は、2万4167人、80歳以上の取得者は、2070人（久喜警察調べ）います。

菖蒲から久喜地区の施設に

直接行きたい

「我々も久喜市民です、何回も乗り換えないで、デマンドで直接施設へ行きたい。」これは、菖蒲にお住まいの方の声です。



デマンドバス「くきまる」

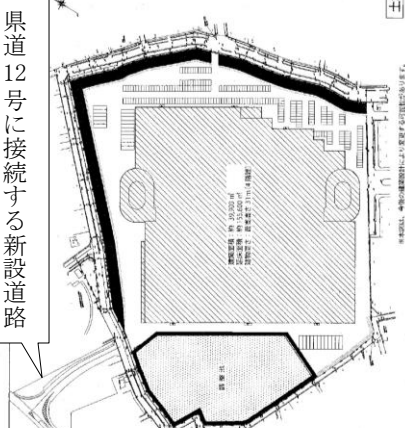
共産党の提案項目の検討は

9月議会では日本共産党は、予算執行誤りに対する再発防止策として6項目の提案をしました。それぞれの項目についての検討内容、決定した内容について問いたしました。「関係部署で検討している。結果は議会に報告したい」との答弁です。



理科大跡地全体図

跡地いっぱいの物流倉庫・図面



県道12号に接続する新設道路